

弾 性 着 衣 等 装 着 指 示 書
(□悪性腫瘍の術後 ・ □原発性)

住 所				
氏 名			性 別	☐ 男性 ☐ 女性
生 年 月 日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日			
診 断 名				
手 術 等 年 月 日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日			
手 術 の 区 分	(☐ 鼠径部 ☐ 骨盤部 ☐ 腋窩部) のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍 (種類)			
装 着 指 示 日	令和 年 月 日			
患 肢	☐ 右上肢 ☐ 左上肢 ☐ 右下肢 ☐ 左下肢			
弾性着衣等の種類	☐ ストッキング (着) ☐ スリーブ (着) ☐ グローブ (着) ☐ 包帯(※5) (着)			
着 圧 指 示	mmHg			
特 記 事 項				

本患者は、上記疾患のため、患肢を常時圧迫する必要があり、弾性着衣等の装着を指示しました。

令和 年 月 日

医療機関名

所在地

電話 番 号 () —

醫師名

※ 記入上の注意

- 1 各欄に記載又は該当項目の□にレ点を記入すること。
- 2 「手術等年月日」欄について、悪性腫瘍の術後の場合、手術年月日を記載する。なお、他院で術を行った等の理由により詳細な日付は判らない場合は、「何年何月頃」との記載でもよい。また、原発性の場合、診療開始日を記載すること。
- 3 「手術の区分」欄の「(種類)」について、悪性腫瘍の具体的な種類を記載すること。
- 4 「患肢」及び「弾性着衣等の種類」が複数ある場合は、その内訳を「特記事項」欄に記載すること。
- 5 「弾性着衣等の種類」が包帯の場合は、包帯の装着を指示する理由を「特記事項」欄に記載すること。
- 6 「着圧指示」が30mmHg未満の場合は、装着が必要な理由を「特記事項」欄に記載すること。